



取扱説明書 Husqvarna Automower® 105

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。



JA, 日本語

目次

1 はじめに	5.4 バッテリー.....	29
1.1 サポート.....	5.5 冬期の保守.....	29
1.2 製品の説明.....	6 トラブルシューティング	
1.3 製品の概要 -	6.1 はじめに - トラブルシューティング.....	31
1.4 製品に表記されるシンボルマーク.....	6.2 エラーメッセージ.....	31
1.5 ディスプレイ上のアイコン.....	6.3 情報メッセージ.....	36
1.6 バッテリーに表示されているシンボル.....	6.4 チャージステーションのインジケータランプ....	37
1.7 取扱説明書全般.....	6.5 症状.....	38
1.8 メニューツリーの概要.....	6.6 ループワイヤーの損傷を発見.....	39
1.9 ディスプレイ.....	7 搬送、保管、廃棄	
1.10 キーパッド.....	7.1 搬送.....	42
2 安全性	7.2 保管.....	42
2.1 安全注意事項.....	7.3 廃棄.....	42
2.2 安全性の定義.....	8 主要諸元	
2.3 操作のための安全注意事項.....	8.1 主要諸元.....	43
3 Installation (設置)	9 保証	
3.1 はじめに - 設置.....	9.1 保証条件.....	45
3.2 設置用の主要部品.....		
3.3 一般的な準備.....		
3.4 ワイヤーを設置する前に.....		
3.5 本製品の設置.....		
3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定 する方法.....		20
3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め 込む方法.....		20
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長 する方法.....		20
3.9 本製品設置後の点検.....		21
3.10 製品設定を行うには.....		21
4 Operation (動作)		
4.1 メインスイッチ.....		26
4.2 本製品の始動方法.....		26
4.3 操作モード.....		26
4.4 本製品の停止方法.....		27
4.5 本製品のスイッチをオフにする方法.....		27
4.6 バッテリーの充電方法.....		27
4.7 刈高の調整.....		27
5 メンテナンス		
5.1 はじめに - メンテナンス.....		28
5.2 製品の清掃.....		28
5.3 ブレードの交換.....		29

1 はじめに

製造番号：

PIN コード：

シリアル番号は本製品の銘板とカートンに記載されています。

- このシリアル番号を使用して、www.husqvarna.com で製品を登録します。

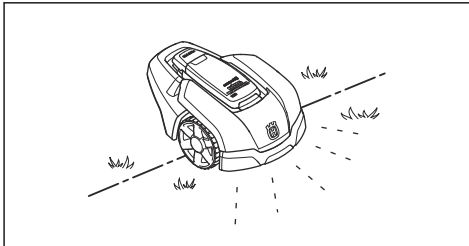
1.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna® 販売店にお問い合わせください。

1.2 製品の説明

注記： Husqvarna® は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。サポート 3 ページを参照してください。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。無作為の動作パターンにより、芝を均等に刈るとともに、摩耗を少なくします。境界ワイヤーとガイドワイヤーで、作業エリア内における製品の動きを制御します。境界ワイヤーに近づくと、本製品のセンサーがそれを感知します。本製品の前部は、旋回する前に必ず特定の距離だけ境界ワイヤーを通過します。本製品が障害物に衝突したり、境界ワイヤーに接近したりすると、本製品は新しい方向を選択します。



動作設定はキーパッドのキーで選択します。ディスプレイには、選択した動作設定、可能な動作設定、および本製品の動作モードが表示されます。

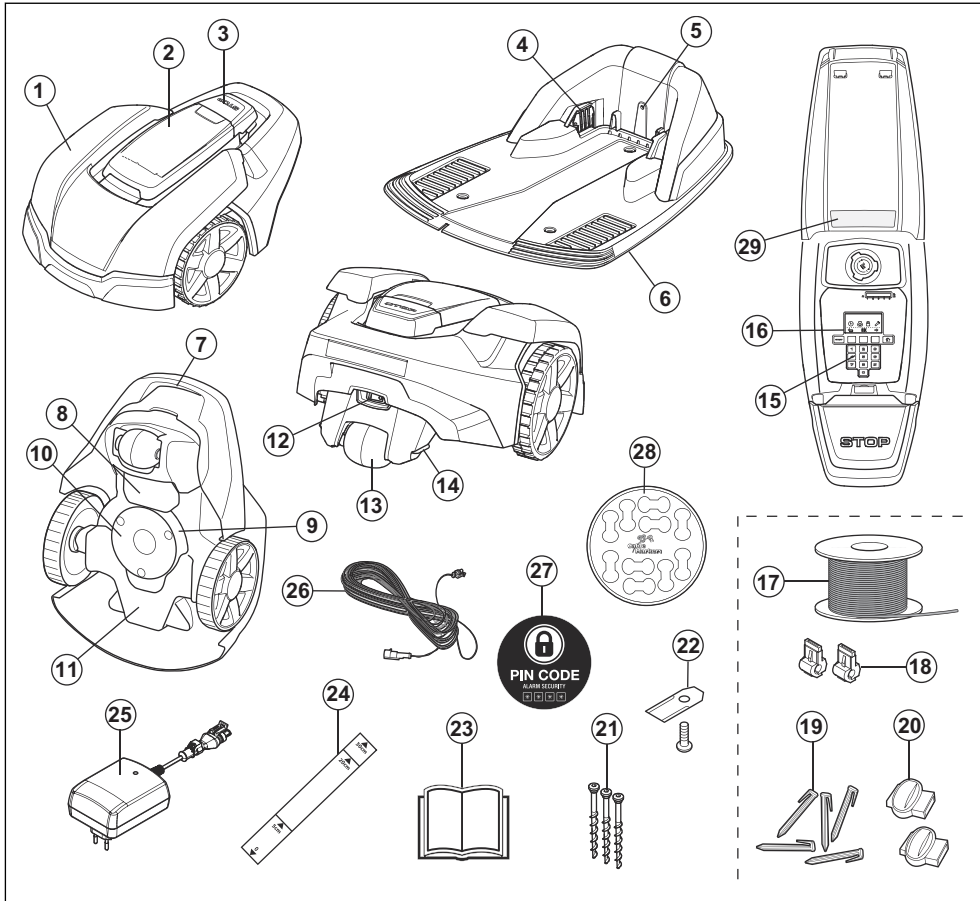
1.2.1 芝刈り方法

本製品は、排出ガスがなく、使いやすく、省エネルギーです。頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を向上させ、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

1.2.2 チャージステーションの探索

本製品は、バッテリーの充電レベルが低下するまで動作します。次にガイドワイヤーに沿って移動してチャージステーションを目指します。ガイドワイヤーは、たとえばチャージステーションから作業エリアの奥に向かって、または狭い小道を通って敷設されるワイヤーです。ガイドワイヤーは境界ワイヤーと接続しているため、本製品はチャージステーションを簡単に見つけることができます。

1.3 製品の概要 -



- | | |
|--|---|
| 1. 本体 | 13. リヤホイール |
| 2. ディスプレイ、キーパッド、および刈高調整のハッチ | 14. 充電ストリップ |
| 3. STOP ボタン | 15. キーパッド |
| 4. すり板 | 16. ディスプレイ |
| 5. チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの動作確認用 LED | 17. 境界ループのループワイヤーとガイドワイヤー |
| 6. チャージステーション | 18. ループワイヤーとチャージステーションの接続コネクタ |
| 7. 移動用ハンドル | 19. ペグ |
| 8. バッテリーカバー | 20. ループワイヤーのカブラー |
| 9. ブレードディスク | 21. チャージステーション固定用ネジ |
| 10. スキッドプレート | 22. 予備のブレード |
| 11. 電子部品、バッテリー、モーターが搭載されたシャーシボックス | 23. 取扱説明書およびクイックガイド |
| 12. メインスイッチ | 24. 境界ワイヤーの設置に使用する測定ゲージ (測定ゲージはボックスから出ています) |

25. 電源¹
26. 低電圧ケーブル
27. 警報デカール
28. ケーブルマーカ―
29. 銘板 (製品識別コードを含む)

1.4 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。しっかりと確認してください。



警告：本製品を使用する前に説明書をお読みください。



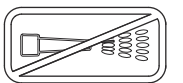
警告：本製品を操作したり、持ち上げたりする前に、本製品をオフにしてください。



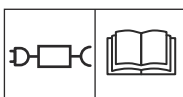
警告：操作時は、本製品から安全な距離を保ってください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に乗らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。



このシンボルの横にある定格ラベルに記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



この製品は該当する EC 指令に準拠しています。



本製品は、通常の家庭ゴミとして処分することはできません。地域の法的要件に従って製品をリサイクルしてください。



シャーシには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーシは、専門的な方法で再度密閉する必要があります。このため、シャーシは、必ず認定サービス技術者が開けるようにしてください。シールが破れていると、製品全体または部品の保証が有効でなくなる可能性があります。



低電圧ケーブルは短くしたり、延長したり、接合したりしないでください。

低電圧ケーブルの近くでトリマーを使用しないでください。ケーブルの敷設場所です際刈りをする場合は、十分に注意してください。

1.5 ディスプレイ上のアイコン



Timer (タイマー) メニューで、本製品が芝を刈る時間を設定できます。



Security (セキュリティ) メニューで、3段階のセキュリティレベルから選択することができます。



Installation (設置) メニューで、本製品の設置について手動で設定できます。



Settings (設定) メニューで、本製品の一般的な設定を行うことができます。



Timer (タイマー) 機能が作動しているため、本製品は芝刈りを行いません。



バッテリーインジケータはバッテリーの充電レベルを表示します。本製品の充電時はこのマークが点滅します。



本製品はチャージステーションに入っていますが、バッテリーが充電されていません。

¹ 外観は市場によって異なる場合があります



本製品は *ECO* モードに設定されています。

1.6 バッテリーに表示されているシンボル



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



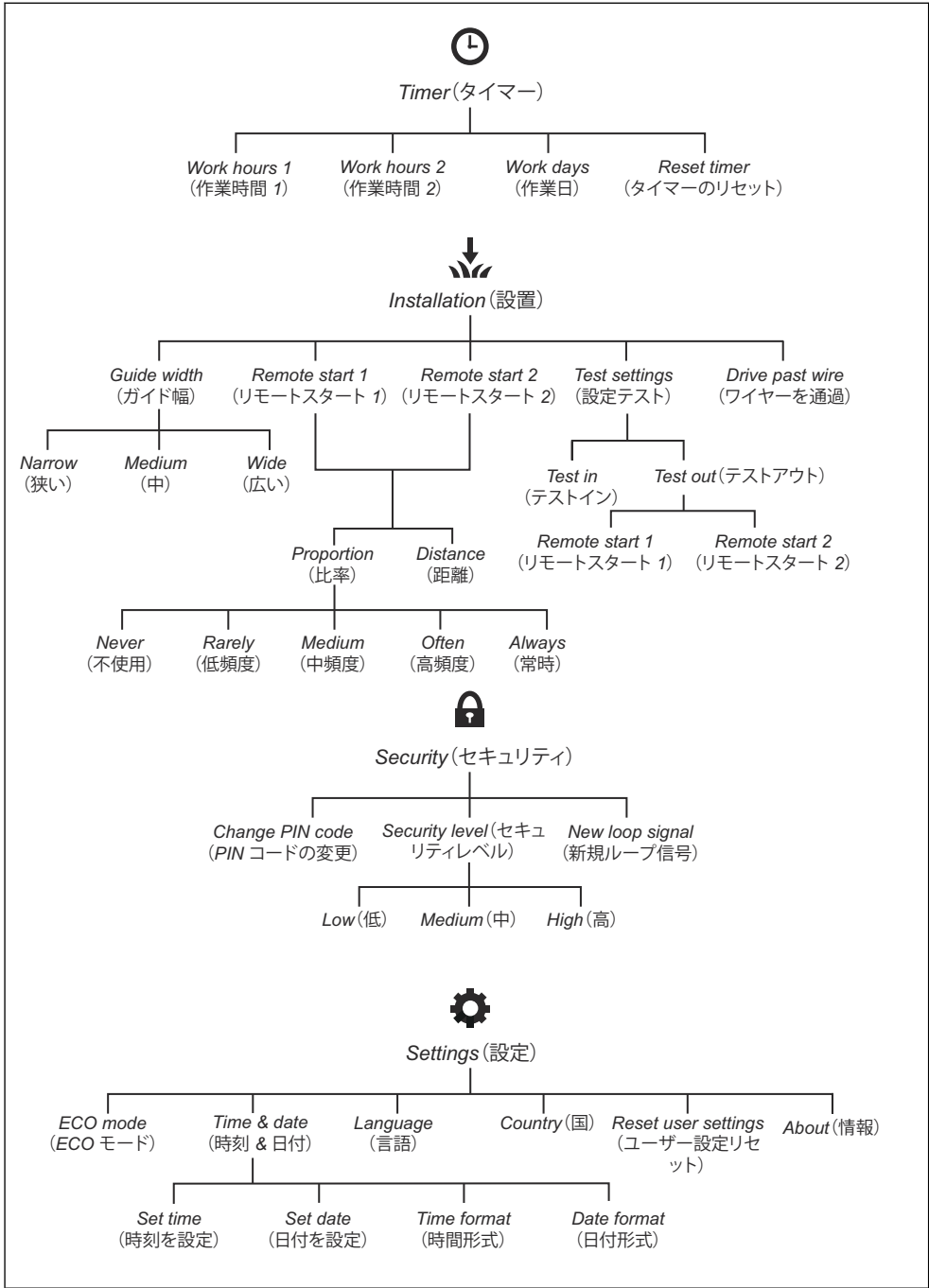
バッテリーは水の中に入れてください。

1.7 取扱説明書全般

本取扱説明書では、読みやすいように次の表記規則を使用しています。

- *斜体*で記載されたテキストは、ディスプレイに表示されるテキストであるか、取扱説明書の別のセクションを参照していることを示しています。
- **太字**のテキストは、本製品のボタンを示します。

1.8 メニューツリーの概要



1.9 ディスプレイ

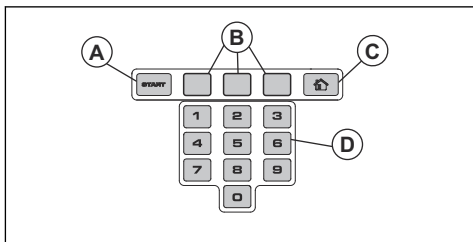
本製品のディスプレイには、本製品の情報と設定が表示されます。

ディスプレイにアクセスするには、**[STOP (停止)]** ボタンを押します。

1.10 キーパッド

本製品のキーパッドを使用して、メニュー内を移動します。キーパッドにアクセスするには、**[STOP]** ボタンを押します。

- 本製品の動作を開始するには、**[START]** ボタン (A) を使用します。
- 3つの**マルチ選択**ボタン (B) は、ボタンの上に表示される機能の選択に使用します。
- **動作選択**ボタン (C) を使用して、本製品の動作モードを選択します。
- **数字**ボタン (D) を使用して、PIN コード、時刻、日付を入力します。



2 安全性

2.1 安全注意事項

2.1.1 重要。使用する前によくお読みください。後で参照できるように保管しておいてください。

周囲の人や財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者にあります。

本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人（子供を含む）、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。

本機は、8才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。居住地の法規によっては、使用者の年齢制限がある場合があります。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。

プラグやコードが損傷している場合は、電源をコンセントに接続しないでください。コードが摩耗したり絡まったりすると、感電のリスクが高くなります。

バッテリーは付属のチャージステーションでのみ充電してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水／中和剤で洗い流します。目に入った場合は医師の診察を受けてください。

メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。

バッテリーを取り外すときは、本機を主電源から取り外す必要があります。



警告： 本製品は、使い方を誤ると危険です。



警告： 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。



警告： 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。モーターのスイッチがオンの場合は、本製品の近くまたは下に決して手や足を近づけないでください。



警告： 負傷または事故の際には、医師の診察を受けてください。

2.2 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



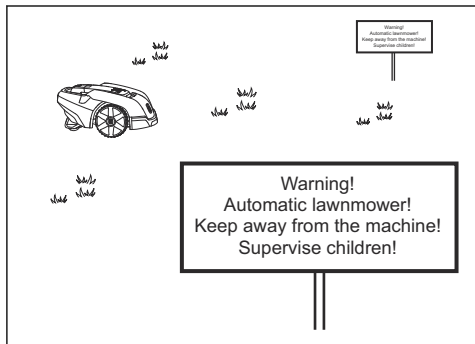
注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

2.3 操作のための安全注意事項

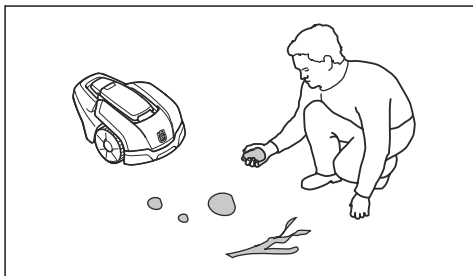
2.3.1 使用

- 本製品には、メーカーから推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。操作/メンテナンスに関するメーカーの指示に正確に従う必要があります。
- 公共の場で本製品を使用する場合は、作業エリアに警告標識を設置してください。標識には次のような内容を記載する必要があります。**警告！自動芝刈機！機械に近づかないでください！お子様を近づけないでください！**



- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、**HOME（ホーム）**機能を使用するか、メインスイッチをオフにしてください。作業エリアに人がいない時間帯に本製品を使用するようにプログラムすることをお勧めします。タイマー設定を行なうには21ページを参照してください。ハリネズミなどの夜行性動物の活動も、考慮してください。これらの動物が、本製品によって傷つけられるおそれがあります。
- チャージステーションおよびアクセサリは、可燃物から60 cm（24インチ）以内の場所には設置しないでください。電源装置は、可燃性の高い環境に設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。

- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者が行ってください。この取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。すべての変更は自分の責任で行ってください。
- ブレードを損傷させるおそれがあるような、石、小枝、工具、おもちゃ、他の物体などが芝の上にあることを確認します。芝生の上に物があると、本製品が止まってしまうこともあります。本製品での芝刈りを続行する前に、障害物を除去する作業が必要です。詰まった芝を掃除する前に、メインスイッチを必ず **0** の位置にセットしてください。



- 指示に従って本製品を始動します。メインスイッチを **1** にセットしているときは、回転しているブレードに手や足を近づけないでください。手や足を本製品の下に入れないでください。
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険部品には触らないでください。
- メインスイッチが **1** の位置にある場合、本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。
- 本製品が人や他の生き物と衝突することがあってはなりません。人や他の動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止する必要があります。本製品の停止方法 27 ページを参照してください。
- 本製品やチャージステーションの上に物を置かないでください。
- ガード、ブレードディスクまたは本体に不具合がある場合は、本製品を使用しないでください。ブレード、ネジ、ナット、またはケーブルに不具合がある芝刈機も使用しないでください。電源から切断する前に、破損したケーブルを接続したり、破損したケーブルに触れたりしないでください。
- メインスイッチが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 本製品を使用していない場合、メインスイッチを使用して必ず本製品のスイッチをオフにしてください。本製品はメインスイッチを **1** にセットし、正しい PIN コードを入力した場合のみ始動できます。
- 本製品とスプリンクラーを同時に使用しないでください。本製品とスプリンクラーが同時に動作しないよう、タイマー機能を使用してください。タイ

マー設定を行なうには 21 ページを参照してください。

- Husqvarna® は、リモコン、無線送信機、ヒアリンググループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性を完全に保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 地面に金属製の物体（例：鉄筋コンクリートやモグラ防護ネット）があると停止の原因になります。金属製の物体は、ループ信号に干渉し、停止の原因になります。
- 動作温度および保管温度は 0~50 °C / 32~122 °F です。充電の温度範囲は 0~45 °C / 32~113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷するおそれがあります。

2.3.2 バッテリーの安全



警告： リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電気的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。

バッテリーの詳細については バッテリー 29 ページ

2.3.3 本製品の持ち上げおよび移動方法



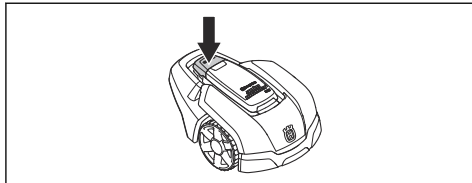
警告： 本製品を持ち上げる前に、本製品のスイッチをオフにする必要があります。メインスイッチが **[0]** の位置にある場合、本製品は無効になります。



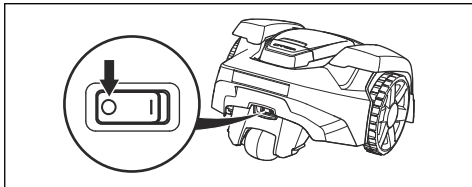
注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品を損傷するおそれがあります。**[STOP]** を押して本製品をチャージステーションから引き出したから持ち上げてください。

作業エリアから、または作業エリア内で安全に移動するには：

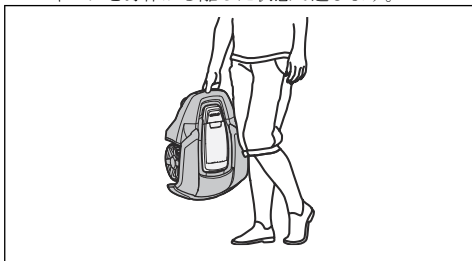
1. **[STOP]** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. メインスイッチを [0] の位置にセットします。



3. 本製品を運ぶ場合は、ハンドルを持ってブレードディスクを身体から離れた状態で運びます。

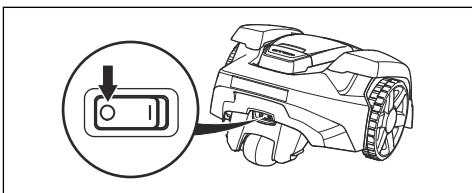


2.3.4 メンテナンス



警告： 本製品を上下さかさまにする場合は、メインスイッチを常に [0] の位置にしておく必要があります。

ブレードの洗浄や交換など、本製品のシャーシを取り扱う前に、メインスイッチを [0] の位置にしてください。



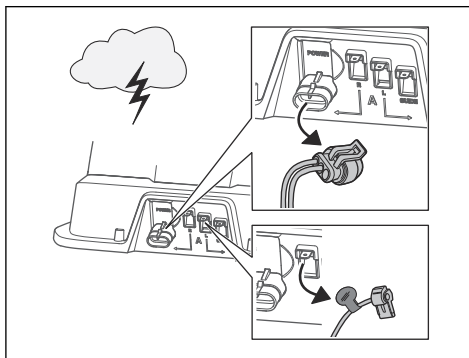
注意： 本製品は高压洗浄機や流水で洗浄しないでください。清掃には、決して溶剤を使用しないでください。



注意： チャージステーションやループワイヤーに対して清掃やメンテナンスを行う前には、プラグを使用してチャージステーションの接続を外してください。

本製品は毎週点検し、損傷または摩耗した部品は交換してください。メンテナンス 28 ページを参照してください。

2.3.5 雷雨の場合



本製品およびチャージステーションの電気装置を損傷するリスクを減らすため、雷雨の危険がある場合は、チャージステーションのすべての接続（電源、境界ワイヤー、ガイドワイヤー）を外すことをお勧めします。

- 再接続を容易にするため、ワイヤーに印を付けておいてください。チャージステーションの接続は R、L、GUIDE と表示されます。
- すべての接続されているワイヤーと電源を取り外します。
- 落雷の危険がなくなったら、すべてのワイヤーと電源を接続します。各ワイヤーを正しい場所に接続することが重要です。

3 Installation (設置)

3.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
 - 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
 - ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドワイヤーに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようになります。
 - 本製品を充電します。
- チャージステーションおよび 100V~240V コンセントと接続した電源。
- ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

3.3 一般的な準備



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。

注記： 設置を始める前に、設置の章をよくお読みください。設置の仕方は、製品の性能に影響します。したがって、設置を慎重に計画することが重要です。

- 作業エリアの設置図を作成し、すべての障害物を記入します。これにより、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイド用ワイヤーの理想的な位置が簡単にわかります。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの設置場所を、この設置図に記入します。

- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所を、設置図に記入します。ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
- 芝生内にある穴を埋めておきます。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 4 cm / 1.6 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間、芝を刈るときに感じられる騒音レベルが、予想よりも高くなる可能性があります。本製品が芝をしばらく刈り続けると、感じられる騒音レベルは大幅に低下します。

3.4 ワイヤーを設置する前に

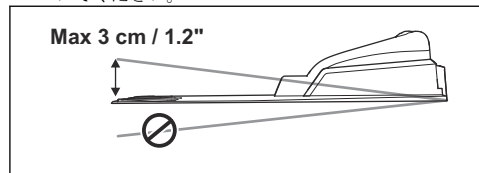
ワイヤーの設置には、ペグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。

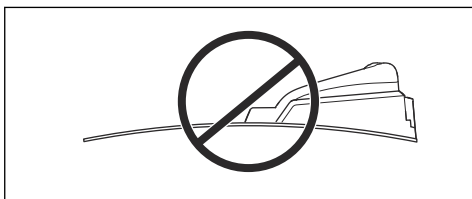


注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

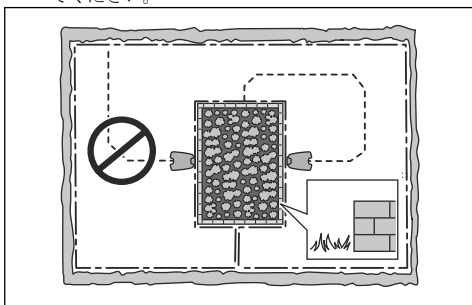
3.4.1 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションの前には、3 m / 9.8 フィート以上の空きスペースを確保してください。ガイドワイヤーの敷設場所について 17 ページを参照してください。
- チャージステーション中央から左右に 1.5 m / 4.9 フィート以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションは、コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。





- チャージステーションは、作業エリア内の低い場所に設置してください。
- チャージステーションは、散水システムのない場所に設置してください。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。アイランドを作る方法 16 ページを参照してください。



3.4.2 電源装置の取り付け場所について



警告： 低電圧ケーブルを切断したり延長したりしないでください。感電の危険があります。



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。



警告： ケーブルの損傷を防ぐため、電源ケーブルと延長ケーブルは作業エリアの外に置く必要があります。



注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

3.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について



注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、または公道の間に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。



注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。



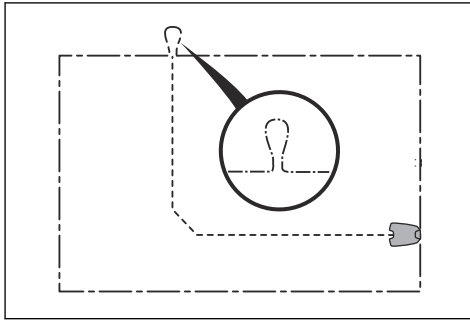
注意： 境界ワイヤーを取り付けるときに、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



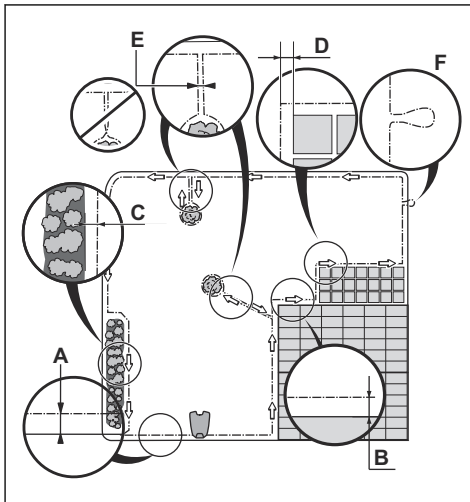
注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。本製品が境界ワイヤーに近づいたことをセンサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は境界ワイヤーから 15 m/50 フィート以内でなければなりません。

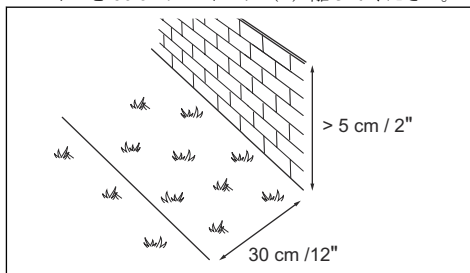
ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を容易にするため、ガイドワイヤーを接続する場所にアイレットを設置することをお勧めします。境界ワイヤーの約 20 cm / 8 インチにアイレットを設置します。



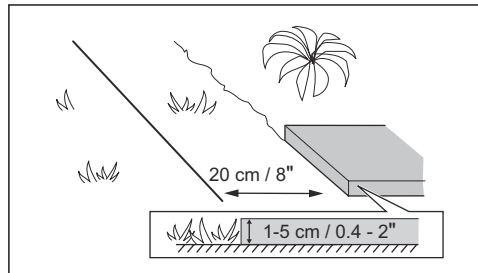
注記： 境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設する前に、作業エリアの設置図を作成してください。



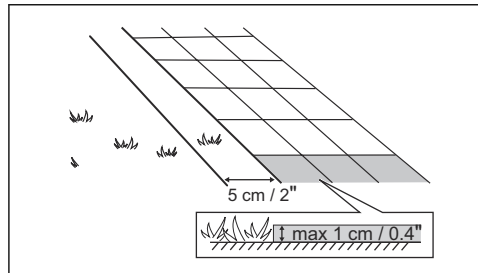
- 境界ワイヤーを作業エリア全体 (A) の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。
- 高さが $5\text{ cm} / 2$ より高い物体からは、境界ワイヤーを $30\text{ cm} / 12$ インチ (B) 離してください。



- 高さが $1.5\text{ cm} / 0.4$ -2 インチの物体からは、境界ワイヤーを $20\text{ cm} / 8$ インチ (C) 離してください。



- 高さが $1\text{ cm} / 0.4$ インチより低い物体からは、境界ワイヤーを $5\text{ cm} / 2$ インチ (D) 離してください。



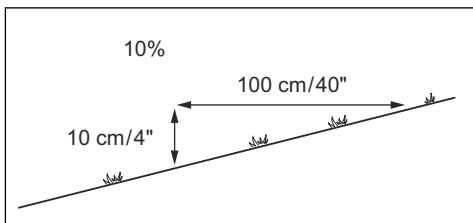
- 芝生と同じ高さの舗装石道がある場合は、境界ワイヤーを舗装石の下に敷設してください。

注記： 舗装石の幅が $30\text{ cm} / 12$ インチ以上ある場合に、舗装石に隣接する芝をすべて刈るには、*Drive Past Wire* (ワイヤーを通過) 機能に工場出荷時の設定を使用してください。ワイヤーを通過の機能の設定方法 23 ページを参照してください。

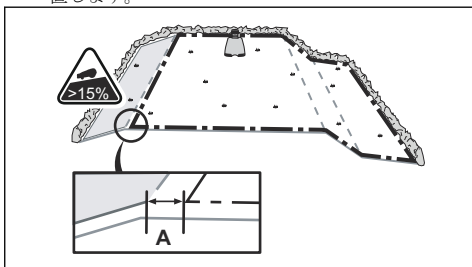
- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を近い位置 (E) に敷設してください。この 2 本のワイヤーは、同じペグに入れてください。アイランドを作る方法 16 ページを参照してください。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所に、アイレット (F) を作成します。

3.4.3.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

本製品は 25% 斜面でも動作します。急すぎる斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配 (%) は、メートルあたりの高さで計算されます。例: $10\text{ cm} / 100\text{ cm} = 10\%$ 。



- 作業エリア内の 25% 以上の勾配は、周囲に境界ワイヤーを設置して隔離する必要があります。
- 芝生の外側の勾配が 15% を超える場合は、縁から 20 cm (8 インチ) (A) の位置に境界ワイヤーを設置します。



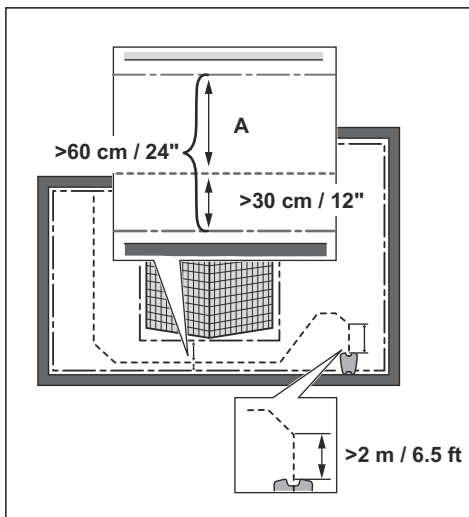
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設置してください。壁またはフェンスを保護壁として使用することができます。

3.4.3.2 経路

経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。経路の両側の境界ワイヤーの距離は 60 cm/24 インチ以上空ける必要があります。

注記： 経路の幅が 2 m/6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーは、30 cm/12 インチ以上空けることを推奨します。本製品は、常にチャージステーションに向かって左側のガイドワイヤーに沿って移動します。ガイドワイヤーの左側 (A) にできるだけ多くの空きスペースを設けてください。



3.4.3.3 アイランドを作る方法



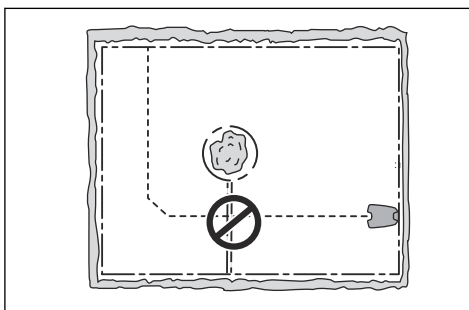
注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。



注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。



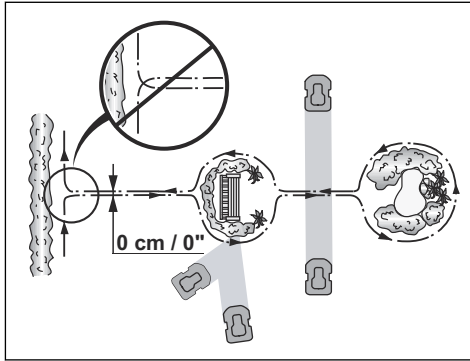
注意： 高さ 15 cm/5.9 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

高さ 15 cm/5.9 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

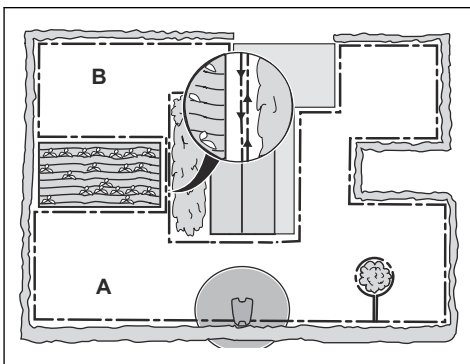
- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じベグに入れてください。



3.4.3.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア (B) を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア (A) です。

注記： メインエリアとセカンダリエリア間は、本製品を手動で移動させる必要があります。



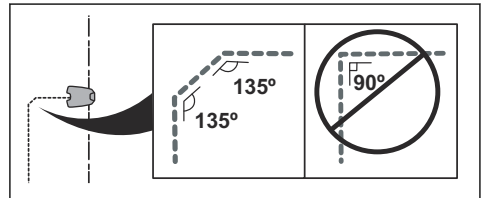
- 境界ワイヤーをセカンダリエリア (B) の周りに敷設して、アイランドを作ります。アイランドを作る方法 16 ページを参照してください。

注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体 (A + B) をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

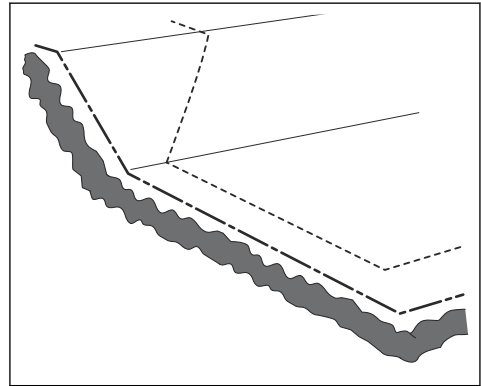
注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、[MAN (マニュアル)] モードを選択する必要があります。操作モード 26 ページを参照してください。

3.4.4 ガイドワイヤーの敷設場所について

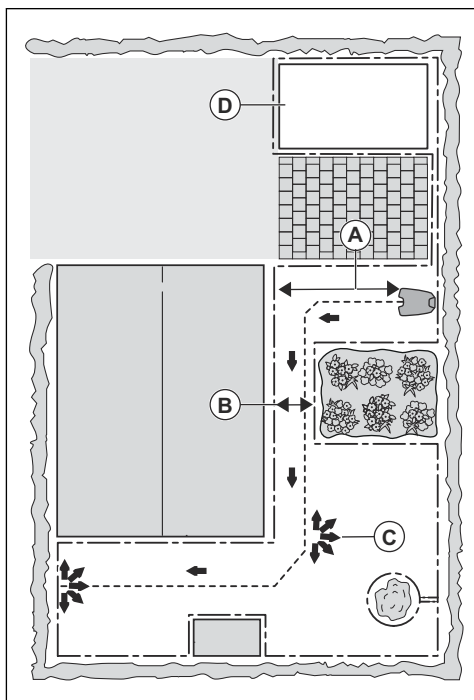
- チャージステーションの前から最低 2 m / 7 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- チャージステーションの正面から見たときのガイドワイヤーの左側に、できるだけ広くスペースを取ってください。ガイド幅 22 ページを参照してください。
- ガイドワイヤーは、境界ワイヤーから 30 cm / 12 インチ以上離してください。
- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



- 作業エリアに斜面がある場合は、ガイドワイヤーを斜面の対角線に配置します。



3.4.5 作業エリアの例



- チャージステーションが狭いエリア (A) に設置されている場合は、境界ワイヤーまでの距離が 3 m / 10 フィート以上あることを確認してください。
- 作業エリアに経路 (B) があり、ガイドワイヤーを設置していない場合は、境界ワイヤーの距離を 2m / 6.6 フィート以上空けてください。経路にガイドワイヤーが設置されている場合は、境界ワイヤーの距離を 60 cm / 24 インチ以上空けてください。
- 狭い通路 (B) でつながったエリアが作業エリアにある場合は、一定の距離 (C) を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できません。設定はリモートスタート 122 ページで変更できます。
- 作業領域にセカンダリエリア (D) が含まれている場合は、セカンダリエリアを作成する方法 17 ページを参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、動作モード *MAN* を選択します。

3.5 本製品の設置

3.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー：杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋤：境界ワイヤーを埋設します。

- コンビネーションプライヤー：境界ワイヤーを切断し、コネクターを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー：カブラーを圧着します。

3.5.2 チャージステーションを設置する方法



警告： 電氣的安全性に関する各国の規制に従ってください。



警告： 本製品は、必ず Husqvarna® が提供する電源を使用してください。



警告： 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。



警告： 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。



警告： 感電のおそれがあります。電源装置を壁コンセントに接続する際は、必ずトリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。米国／カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合：感電のおそれがあります。必ずアタッチメントブラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル (RCD) に取り付けてください。



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。



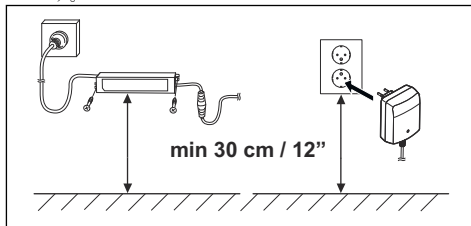
警告： ケーブルの損傷を防ぐため、電源ケーブルと延長ケーブルは作業エリアの外に置く必要があります。

電源を接続する場合は、漏電遮断器 (RCD) に接続されたコンセントのみを使用してください。

1. チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。チャージステーションの設置場所について 13 ページを参照してください。
2. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

注記： ガイドワイヤーを敷設するまでは、ネジを使用してチャージステーションを地面に固定しないでください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。

3. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
4. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



5. 電源装置を 100~240V の電源コンセントに接続します。

注記： チャージステーションが接続されたら、本製品を充電できます。本製品をチャージステーションの上に配置して、境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設します。本製品のスイッチをオンにして充電を開始します。メインスイッチ 26 ページを参照してください。設置が完了してから、本製品の設定を続行してください。

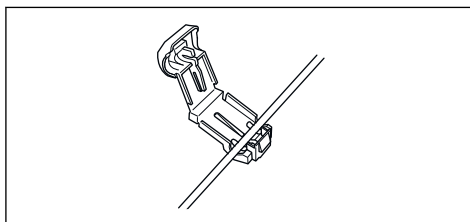
6. ケーブルをペグで地面に固定するか、または地中に埋めます。ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 20 ページまたは境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 20 ページを参照してください。
7. 境界ワイヤーとガイドワイヤーの敷設が完了したら、ワイヤーをチャージステーションに接続します。境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページおよびガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
8. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。

3.5.3 境界ワイヤーを取り付ける方法

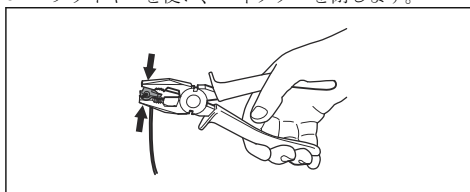


注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。
2. コネクターを開き、境界ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。



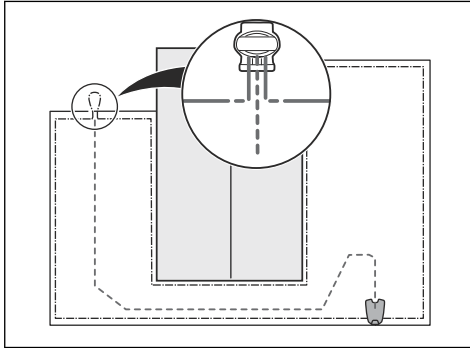
4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 右側のコネクターを、チャージステーションの「R」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. 左側のコネクターを、チャージステーションの「L」というマークの付いた金属ピンに接続します。

3.5.4 ガイドワイヤーを取り付ける方法



注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

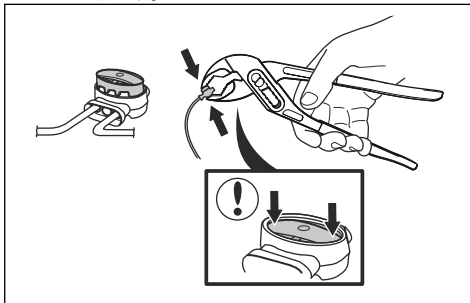
1. コネクターを開き、ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
4. ガイドワイヤーを押してチャージステーションプレートのスロットに通します。
5. コネクターを、チャージステーションの「GUIDE」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
7. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
8. ワイヤーカッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
9. カブラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。



- a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカブラーに入れます。

注記： ガイドワイヤーの両端がカブラーの透明部分を通っていることを確認してください。

- b) アジャスタブルブライヤーでカブラーのカバーを押し下げてカブラーにワイヤーを取り付けます。



10. ガイドワイヤーをペグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 20 ページまたは境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 20 ページを参照してください。
11. チャージステーションを電源に接続します。

3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法



注意： ペグが境界ワイヤーとガイドワイヤーを保持して地面に固定されていることを確認します。



注意： 設置直後に芝を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーの絶縁を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数カ

月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. 境界ワイヤーとガイドワイヤーを地面に置きます。
2. ペグを、75 cm / 30 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ペグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーは芝で覆われて見えなくなります。

3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法

- エッジャーまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを 1-20 cm / 0.4-8 インチの深さで埋め込みます。

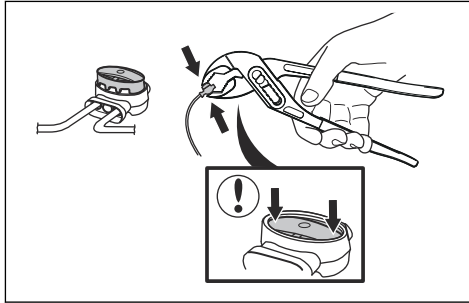
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーが作業エリアに対して短すぎる場合は、延長します。カブラーなどの予備部品は、純正部品を使用してください。

1. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
2. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所では、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーをワイヤーカッターで切断します。
3. 延長用カブラーを取り付ける必要がある場所に、延長用のワイヤーを追加します。
4. 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
5. ワイヤーの端部をカブラー内に入れます。

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーの端がカブラーの透明部分を通っていることを確認します。

6. アジャスタブルブライヤーでカブラーのカバーを押し下げてカブラーにワイヤーを取り付けます。

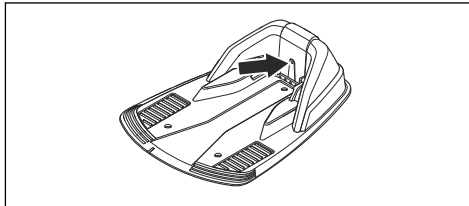


7. ベグを使って、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
8. チャージステーションを電源に接続します。

3.9 本製品設置後の点検

3.9.1 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。



2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションのインジケータランプ 37 ページおよびチャージステーションを設置する方法 18 ページを参照してください。

3.9.2 基本設定を行うには

本製品を初めて使用する前に、基本設定を行う必要があります。

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. 本製品のスイッチをオンにします。
3. 矢印ボタンと **[OK]** ボタンを押します。言語、国、日付、時刻を選択し、PIN コードを設定します。

注記：一部のモデルでは、個人用 PIN コードを選択する前に工場出荷時の PIN コードが必要です。PIN コードを 0000 にすることはできません。

4. **[START]** ボタンを押してハッチを閉じ、本製品の補正プロセスを開始します。

注記：バッテリー残量が低すぎる場合は、補正を開始する前に本製品のバッテリーを完全に充電する必要があります。評価調整 21 ページを参照してください。

注記：新しい PIN コードをメモします。はじめに 3 ページを参照してください。

3.9.3 評価調整

補正プロセスは自動的に行われます。基本設定の設定後、本製品はチャージステーションから離れて停止し、一部の製品設定を補正します。補正が完了すると、本製品が芝刈りを開始します。

3.10 製品設定を行うには

本製品のすべての設定はコントロールパネルで行います。コントロールパネルはディスプレイとキーボードからなります。メニューから、すべての機能にアクセスできます。各機能には、ほとんどの作業エリアに適した工場出荷時設定がありますが、この設定は各作業エリアの状況に合わせて調整できます。

3.10.1 メニュー構造

メインメニューには以下が含まれます：

- タイマー
- 設置
- **Security** (セキュリティ)
- 設定

メニューツリーの概要 7 ページを参照してください。

3.10.2 メニューにアクセスするには

1. **[STOP (ストップ)]** ボタンを押します。
2. キーボードで PIN コードを入力します。
3. **マルチ選択** ボタンを押します。

3.10.3 タイマー設定を行なうには



注記：作業エリアが 600 m²/0.15 エーカー未満の場合は、芝と本製品の消耗を防ぐために、タイマーを設定してください。

3.10.3.1 タイマーを設定するには

1. メニューにアクセスするには 21 ページの手順 1 ~ 3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、**[Timer (タイマー)]** を選択します。

3. **複数選択** ボタンを使用して、[*Work hours 1 (作業時間 1)*] または [*Work hours 2 (作業時間 2)*] を選択します。
4. **数字** ボタンを使用して時刻を入力します。
5. [**OK**] を押します。
6. **複数選択** ボタンを使用して、[*Work days (作動日)*] を選択します。
7. **複数選択** ボタンを使用して、本製品が動作する日を選択します。
8. [**OK**] を押します。

3.10.3.2 必要な運転時間の見積もり

作業エリアが製品の最大性能より小さい場合は、スケジュール機能を使用して、芝の傷みや製品の摩耗を最小限に抑えることを推奨します。本製品には、最大芝刈り時間が日ごとに設定されています。スケジュールで本製品の運転時間を設定できます。運転時間には、芝刈り、探索、充電の時間が含まれます。作業エリアの配置、芝の成長、バッテリーの寿命など多くの理由により、運転時間が異なる場合があります。本製品の動作時間が1日の許容作業時間に達すると、ディスプレイに *Today's mowing complete (本日の芝刈りが完了しました)* というメッセージが表示されます。

一部の作業エリアの推奨運転時間の例を以下の表に示します。結果が適切でない場合は、運転時間を長くしてください。

面積、m ²	推奨運転時間、h
300	6-7
600	12-13

3.10.3.3 タイマー設定をリセットするには

すべてのタイマー設定を削除して、工場設定に戻すことができます。工場出荷時のタイマー設定では、本製品は1週間のすべての曜日のすべての時間に動作します。必要な運転時間の見積もり 22 ページを参照してください。

1. メニューにアクセスするには 21 ページの手順 1~3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、[*Timer (タイマー)*] > [*Reset Timer (タイマーのリセット)*] を選択します。
3. [**OK**] を押します。

3.10.4 設置



設置メニューでは、最適な芝刈り結果を得られるように製品の設定を調整できます。

3.10.4.1 ガイド幅

ガイド幅は、本製品がチャージステーションからワイヤーに沿って移動する際に、ガイドワイヤーから離れることができる距離です。本製品が走行するワイヤー周辺の範囲を、経路と呼びます。

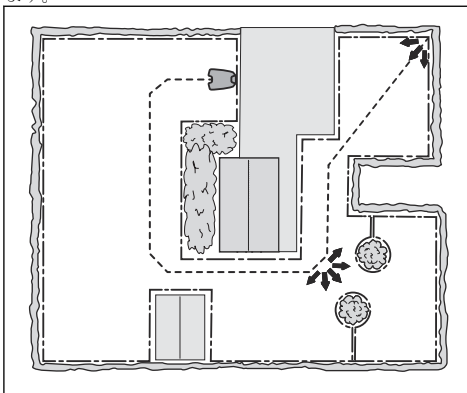
本製品の経路は、*中程度*の幅にデフォルト設定されています。わだちが形成されるリスクをさらに低減するために、できるだけ広い経路を選択することをお勧めします。通常、狭い経路設定は推奨されませんが、狭い通路が1つ以上ある庭では、経路を狭くせざるを得ない場合があります。経路設定が狭い場合、ガイドに沿ってわだちが形成されるリスクが高くなります。

ガイド幅の設定

1. メニューにアクセスするには 21 ページの手順 1~3 を実行してください。
2. **マルチ選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、[*Installation (設置)*] > [*Guide width (ガイド幅)*] を選択します。
3. **マルチ選択** ボタンを使用して、狭い、中、広いの中から選択します。
4. [**OK**] を押します。

3.10.4.2 リモートスタート 1

リモートスタート機能は、本製品を作業エリア内の離れた部分(リモートエリア)に誘導するために使用します。作業エリアに狭い通路でつながっているエリアがある場合は、リモートスタート機能を使用すると、庭のすべての部分の芝を適切に刈り整えることができます。本製品は、リモートスタートポイントに到達すると芝刈りを開始します。それ以外の場合は常に、本製品はチャージステーションから標準的な方法で移動し、芝刈りを開始します。



リモートスタート機能の設定

1. メニューにアクセスするには 21 ページの手順 1~3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、[*Installation (設置)*] > [*Remote Start (リモートスタート)*] > [*Proportion (比率)*] を選択します。

- リモートスタート機能を使用する頻度を選択します。次の5つのオプションがあります。
 - Never (不使用) (0%)
 - Rarely (低頻度) (約 20%)
 - Medium (中頻度) (約 50%)
 - Often (高頻度) (約 80%)
 - Always (常時) (100%)
- チャージステーションからリモートスタートまでの距離を選択します。
- [OK] を押します。

3.10.4.3 リモートスタート 2

作業エリアに2つのリモートエリアがある場合は、両方のエリアに到達できるようにガイドワイヤーを設置する必要があります。リモートスタート1とリモートスタート2を組み合わせて、本製品を各エリアに誘導できます。

比率と距離の設定手順は、リモートスタート1と同一です。工場出荷時の設定は [Never (不使用)] です。

注記： リモートスタート1とリモートスタート2の比率の合計は100%以下でなければなりません。

たとえば、リモートスタート1に [Often (高頻度)] を選択した場合、リモートスタート2には [Never (不使用)] または [Rarely (低頻度)] を選択する必要があります。

チャージステーションからの距離を測定するには

- 本製品をチャージステーションに入れます。
- メニューにアクセスするには21ページの手順1~3を実行してください。
- 複数選択ボタンを使用してメニューツリーを移動し、[Installation (設置)] > [Remote Start 1 (リモートスタート1)] または [Remote Start 2 (リモートスタート2)] > [Distance (距離)] を選択します。
- 数字ボタンを使用して、メートル単位で100距離を設定します。
- [OK] を押します。
- 複数選択ボタンを使用してメニューツリーを移動し、[Installation (設置)] > [Test Settings (設定テスト)] > [Test OUT (テストアウト)] を選択します。
- [OK] を押します。
- 本製品が測定対象として選択した距離に達したら、[STOP (ストップ)] ボタンを押します。距離がディスプレイに表示されます。

3.10.4.4 設定テスト

設定テスト (Test Settings) メニューでは、リモートスタート1 (Remote Start 1) およびリモートスタート2

(Remote Start 2) の設定が、対象の作業エリアでどのように機能するかをテストできます。

リモートスタート機能のテストの実施

- 本製品をチャージステーションに入れます。
- メニューにアクセスするには21ページの手順1~3を実行してください。
- 複数選択ボタンを使用してメニューツリーを移動し、[Installation (設置)] > [Test Settings (設定テスト)] > [Test OUT (テストアウト)] > [Remote Start 1 (リモートスタート1)] または [Remote Start 2 (リモートスタート2)] を選択します。
- [OK] を押します。
- [START (開始)] ボタンを押します。
- ハッチを閉じます。
- 本製品がエリアを見つけられることを確認します。

3.10.4.5 ワイヤーを通過の機能の設定方法

本製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動し、その距離まで近づくと、作業エリア内へ戻っていきます。工場出荷時の設定は25cmです。20-30cmの距離から選択できます。

- メニューにアクセスするには21ページの手順1~3を実行してください。
- 複数選択ボタンを使用してメニューツリーを移動し、[Installation (設置)] > [Drive Past Wire (ワイヤーを通過)] を選択します。
- 数字ボタンを使用して、距離をcm単位で設定します。
- [BACK (戻る)] ボタンを押します。

3.10.5 セキュリティレベル



本製品には3段階のセキュリティレベルがあります。

機能	低	中	高
アラーム			X
PIN 要求		X	X
時間ロック	X	X	X

- アラーム - [STOP] ボタンを押してから10秒以内にPINコードを入力しないと、アラームが鳴動します。本製品を持ち上げたときも、アラームが鳴動します。PINコードを入力するとアラームが停止します。
- PINコード - 本製品のメニューツリーにアクセスするには、正しいPINコードを入力する必要があります。誤ったPINコードを5回入力すると、本

製品がしばらくの間ロックされます。誤った試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。

- **時間ロック - PIN コードが 30 日間入力されない**と、本製品はロックされます。本製品にアクセスするには PIN コードを入力します。

3.10.5.1 PIN コードの変更

1. メニューにアクセスするには **21** ページの手順 1 ~3 を実行してください。
2. **マルチ選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、**[Security (セキュリティ)]** > **[Change PIN Code (PIN コードの変更)]** を選択します。
3. 新しい PIN コードを入力します。
4. **[OK]** を押します。
5. 新しい PIN コードをもう一度入力します。
6. **[OK]** を押します。
7. 新しい PIN コードをメモします。はじめに **3** ページを参照してください。

3.10.5.2 セキュリティレベルを設定するには

製品の **3** 種類のセキュリティレベルからいずれかを選択します。

1. メニューにアクセスするには **21** ページの手順 1 ~3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、**[Security (セキュリティ)]** > **[Security Level (セキュリティレベル)]** を選択します。
3. **複数選択** ボタンを使用して、セキュリティのレベルを選択します。
4. **[OK]** を押します。

3.10.5.3 新規ループ信号の生成

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する **2** つの設置で非常に類似している信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

1. 本製品をチャージステーションに置きます。
2. メニューにアクセスするには **21** ページの手順 1 ~3 を実行してください。
3. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、**[Security (セキュリティ)]** > **[New loop signal (新規ループ信号)]** を選択します。
4. **[OK]** を押して、ループ信号が生成されたことを確認するメッセージを待ちます。通常、これには約 **10** 秒かかります。

3.10.6 設定



設定では、本製品の一般設定を変更できます。

3.10.6.1 ECO モード

ECO モードでは、本製品の駐車中や充電中に、境界線ループ、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が停止します。

注記： **ECO** モードは、電力を節約したり、ヒアリンググループやガレージドアなどの他の機器との干渉を回避したりするために使用します。

注記： チャージステーションから本製品を取り外す前に、**[STOP (ストップ)]** ボタンを押してください。そうしないと、作業エリア内で本製品を始動できなくなります。

ECO モードを設定するには

1. メニューにアクセスするには **21** ページの手順 1 ~3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、**[Settings (設定)]** > **[ECO mode (ECO モード)]** を選択します。
3. **[OK]** を押します。

3.10.6.2 日付と時刻の設定

1. メニューにアクセスするには **21** ページの手順 1 ~3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、**[Settings (設定)]** > **[Time & Date (時刻と日付)]** を選択します。
3. **数字** ボタンを使用して時刻を設定し、**[OK]** を押します。
4. **数字** ボタンを使用して日付を設定し、**[OK]** を押します。
5. **複数選択** ボタンを使用して時間形式を設定し、**[OK]** を押します。
6. **複数選択** ボタンを使用して日付形式を設定し、**[OK]** を押します。

3.10.6.3 言語を設定するには

1. メニューにアクセスするには **21** ページの手順 1 ~3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、**[Settings (設定)]** > **[Language (言語)]** を選択します。
3. **複数選択** ボタンを使用して言語を選択し、**[OK]** を押します。

3.10.6.4 国の設定

1. メニューにアクセスするには **21** ページの手順 1 ~3 を実行してください。

2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、*[Settings (設定)]* > *[Country (国)]* を選択します。
3. **複数選択** ボタンを使用して国を選択し、*[OK]* を押しします。

3.10.6.5 すべてのユーザー設定をリセットするには

1. メニューにアクセスするには 21 ページの手順 1～3 を実行してください。
2. **複数選択** ボタンを使用してメニューツリーを移動し、*[Settings (設定)]* > *[Reset user settings (ユーザー設定リセット)]* を選択します。
3. **複数選択** ボタンを使用して国を選択し、*[OK]* を押しします。
4. PIN コードを入力します。
5. *[OK]* を押して、すべてのユーザー設定をリセットします。

注記： セキュリティレベル、PIN コード、ループ信号、メッセージ、日付と時刻、言語、国の設定はリセットされません。

3.10.6.6 About (情報) メニュー

[About (情報)] メニューには、製造番号やソフトウェアバージョンなど、本製品に関する情報が表示されます。

4 Operation (動作)

4.1 メインスイッチ



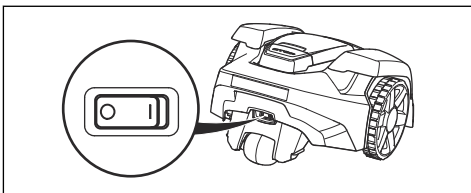
警告： 本製品を使用する前に、安全注意事項をよくお読みください。



警告： 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。カッティングモーターの作動中は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。



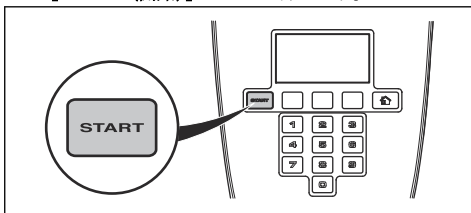
警告： 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。



- 本製品を始動するには、**メインスイッチ**を [1] の位置にします。
- 本製品を使用しない場合や、本体の点検またはメンテナンスを行う場合は、**メインスイッチ**を [0] の位置にします。

4.2 本製品の始動方法

1. **[STOP (停止)]** ボタンを押して、ハッチを開きます。
2. **メインスイッチ**を [1] の位置にセットします。
3. PIN コードを入力します。
4. **[START (開始)]** ボタンを押します。



5. ハッチを閉じます。

注記： 本製品をチャージステーションに駐車した場合、バッテリーが完全に充電され、タイマーで本製品の

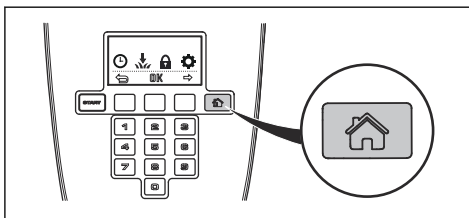
動作が許可されている場合にのみ、本製品はチャージステーションから離れます。

注記： **[START (スタート)]** ボタンを押してから、ハッチを閉じ、本製品を始動してください。**[START (スタート)]** ボタンを押さないと通知音が鳴り、本製品は始動しません。

4.3 操作モード

動作選択ボタンを押して、次の動作モードのいずれか1つを選択します。

- **Home (ホーム)**
- **Auto (自動)**
- **Man (マニュアル)**



4.3.1 ホームモード

操作モード **Home (ホーム)** とは、別の操作モードを選択するまで、製品がチャージステーションに駐車することを意味します。ホームモードは、製品がガイドワイヤーに沿って移動し、チャージステーションにドッキングできるかテストする場合にも使用します。

4.3.2 Auto mode (オートモード)

オートモードは、本製品が芝刈りと充電を自動的に行う標準の操作モードです。

4.3.3 Manual mode (マニュアルモード)

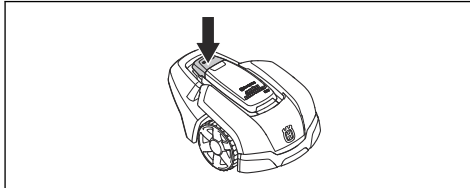
セカンダリエリアの芝を刈るには、操作モード **[MAN (マニュアル)]** を選択する必要があります。マニュアルモードでは、使用者が、メインエリアとセカンダリエリアの間をマニュアルで本製品を移動する必要があります。本製品は、バッテリーが空になるまで芝刈りを行います。

バッテリーが空になると、本製品は停止し、**[Needs manual charging (手動充電が必要です)]** というメッセージが製品ディスプレイに表示されます。本製品をチャージステーションに入れて、バッテリーを充電します。バッテリーが充電されると、本製品はチャージステーションから移動して停止します。本製品の作動準備は整いましたが、作動前に使用者が確認する必要があります。

注記： バッテリーの充電後にメインエリアの芝を刈るには、本製品をチャージステーションに置く前に、オートモードに設定します。

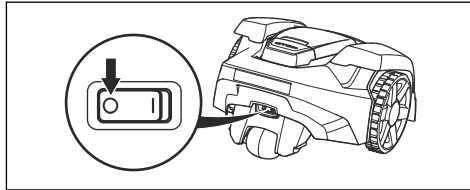
4.4 本製品の停止方法

1. **STOP** ボタンを押して本製品とカッティングモーターを停止します。



4.5 本製品のスイッチをオフにする方法

1. 本製品の上部にある **[STOP (ストップ)]** ボタンを押します。
2. **メインスイッチ** を **[0]** の位置にセットします。



警告： メンテナンスが必要な場合、または本製品を作業エリアの外に移動する必要がある場合は、必ずメインスイッチを使用して本製品をオフにしてください。

4.6 バッテリーの充電方法



警告： 本製品は、専用のチャージステーションを使用して充電してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。

電解液が漏れた場合は、水で洗い流し、目に入った場合は医師の診察を受けてください。

本製品が新品の場合、または長期間保管されていた場合、バッテリーが空になっていて、始動の前に充電する必要があるかもしれません。[Main area (メインエリア)] モードでは、本製品は自動的に芝刈りと充電の切り替えを行います。

1. **メインスイッチ** を **[1]** の位置にセットします。

2. 本製品をチャージステーションに置きます。本製品を可能な限り奥までスライドさせて、本製品とチャージステーションの間で適切な接触を確保します。コンタクトストリップと充電ストリップについて： **製品の概要 - 4 ページ**
3. 充電が進行中であることがディスプレイに表示されます。

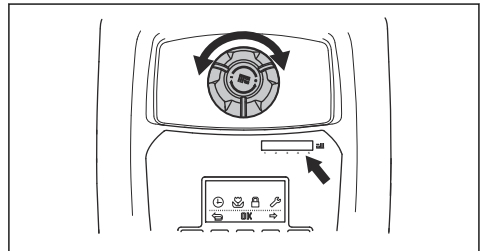
4.7 刈高の調整

刈高は、MIN (2 cm (0.8 インチ)) から MAX (5 cm (2 インチ)) まで変えることができます。

注記： 新規設置後最初の数週間は、ループワイヤーの損傷を防ぐため、刈高を最大に設定する必要があります。その後は、希望の刈高に達するまで、刈高を毎週 1 段階ずつ下げることができます。

4.7.1 刈高を調整するには、次の手順に従います。

1. **[STOP (ストップ)]** ボタンを押して本製品を停止し、ハッチを開きます。
2. 高さ調節ノブを目的の位置まで回します。選択されている位置は、高さ調整インジケータのオレンジ色のコラムで示されます。
 - 刈高を高くするには反時計方向に回します。
 - 刈高を低くするには時計方向に回します。



3. ハッチを閉じます。

5 メンテナンス

5.1 はじめに - メンテナンス



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に電源を切ってください。



警告： 保護グローブを着用してください。

動作を向上し、耐用年数を長くするため、定期的に本製品を掃除し、必要に応じて摩耗した部品を交換します。すべてのメンテナンスと点検は、Husqvarna®の指示に従って実行される必要があります。保証 45 ページを参照してください。

本製品を初めて使用する場合、ブレードディスクとブレードは 1 週間に 1 回点検してください。この期間の摩耗の量が少ない場合は、点検間隔を延長できます。

ブレードディスクが簡単に回転することが重要です。ブレードの縁に損傷があってはけません。ブレードの寿命は次の条件で大幅に変化します。

- 作動時間および作業エリアのサイズ。
- 芝の種類と季節的成長。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- コーン、木から落ちた果物、玩具、工具、石、根などの存在。

良好な条件で使用される場合、通常の寿命は、4 から 7 週間です。ブレードの交換方法については、ブレードの交換 29 ページを参照してください。

注記： 鈍ったブレードで作業すると、芝刈り結果が悪くなります。芝をきれいに刈れず、より多くのエネルギーが必要となり、結果的に広いエリアを作業できなくなります。

5.2 製品の清掃



注意： 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。清掃には決して溶剤を使用しないでください。

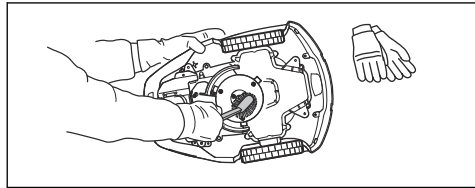
本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。本製品の清掃には柔らかいブラシを使用してください。

Husqvarna® は、アクセサリとして入手可能な特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細情報は、Husqvarna®担当者までお問い合わせください。

5.2.1 シャーシおよびブレードディスク

ブレードディスクとブレードを週に 1 回点検します。

1. [STOP] ボタンを押します。
2. **メインスイッチ**を [0] の位置にセットします。
3. 本製品を横に倒します。
4. ディッシュブラシを使用して、ブレードディスクとシャーシを清掃します。同時に、ブレードディスクがフットガードと一緒に自由に回転することを確認します。また、ブレードが損傷しておらず、自由に回転することを確認します。



5.2.2 ホイール

ホイール周辺を清掃します。ホイールに草が付いていると、本製品の斜面での動作に影響する場合があります。

5.2.3 本製品のボディ

湿らせた柔らかいスポンジまたは布を使用して、製品本体を清掃します。本製品の本体が汚れている場合は、低刺激性の石鹸水を使用して掃除してください。

5.2.4 チャージステーション



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う前に、電源装置を電源コンセントから外してください。



警告： チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

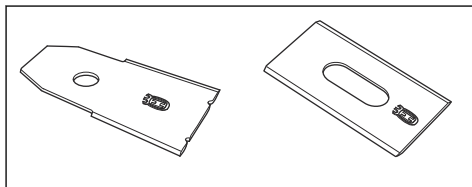
チャージステーションは定期的に清掃して、草、葉、小枝などの異物がドッキングを妨害しないようにします。

5.3 ブレードの交換



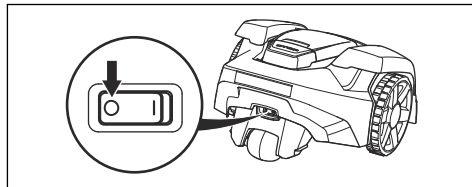
警告：正しいサイズのブレードとネジを使用してください。Husqvarna®では、純正のブレードを使用する場合のみ安全を保証しています。ブレードだけを交換し、ネジを再利用した場合は、芝刈り中にネジが摩擦することがあります。その場合、ブレードが本体の下から飛び出して、周囲の人が重傷を負うことがあります。

安全上の理由により、摩耗または破損した部品は取り替えてください。ブレードに損傷がない場合でも、最適な芝刈りと省エネ利用のため、定期的にブレードを交換する必要があります。芝刈りシステムのバランスを取るため、3枚のブレードとネジをすべて同時に交換する必要があります。王冠形のHマークが型押しされているHusqvarna®の純正ブレードを使用します（主要諸元43ページを参照）。

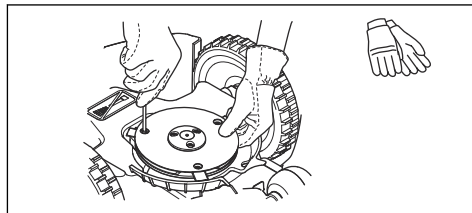


5.3.1 ブレードの交換方法

1. **[STOP]** ボタンを押します。
2. **メインスイッチ**を **[0]** の位置にセットします。



3. 本製品を上下さかさまにします。本製品に傷がつかないようにするため、柔らかくてきれいな面に本製品を置きます。
4. スキッドプレート回して、ブレードのネジに穴を合わせます。
5. 3本のネジをドライバーで外します。



6. 3枚のブレードを外します。
7. 3枚の新しいブレードとネジを取り付けます。
8. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

5.4 バッテリー



警告：本製品は、専用のチャージステーションを使用して充電してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水で洗い流し、目に入った場合は医師の診察を受けてください。



警告：メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正以外のバッテリーを使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。



注意：冬季保管の前にバッテリーを完全に充電する必要があります。バッテリーは、フル充電しないと、損傷して、場合によっては使用できなくなります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーが古くなって交換の必要があることを示しています。

注記：バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を1日に稼働させる時間の長さによって変わります。稼働させる時期が長い場合、または1日に使用する時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。本製品が芝をきれいに刈っている限りバッテリーに問題ありません。

5.5 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くのHusqvarna® センtralサービスにお持ちください。冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。
- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要な場合はバッテリー交換の推奨。

- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

6 トラブルシューティング

6.1 はじめに - トラブルシューティング

本章には本製品の不具合と症状に関する情報とヘルプが記載されています。その他の情報やFAQ（よくある質問と答え）を参照してください。 www.husqvarna.com

6.2 エラーメッセージ

本製品のディスプレイに表示されるエラーメッセージは以下の表のとおりです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、Husqvarna® 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Wheel motor blocked, left/right</i> (左/右のホイールモーターがブロックされています)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動輪を点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムがブロックされています)	草などの異物がブレードディスクに巻き付いています。	ブレードディスクを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水たまりに入っています。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。
	芝の高さが高すぎます。	本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 4 cm / 1.6 インチ 以下にする必要があります。
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、多数の障害物の背後の小さな領域で動けなくなっています。	本製品をその場所から動けなくしている障害物があるかどうかを確認してください。障害物を取り除くか、障害物の周囲にアイランドを作ります。アイランドを作る方法 16 ページを参照してください。
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	チャージステーションまでの境界ワイヤーの接続が交差しています。	境界ワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが説明書に従って設置されていることを確認してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
	境界ループのそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設が適切ではありません。	
	付近にある金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーの移動を試してください。
	本製品が、近くにある他の製品の設置場所からの信号を区別することが困難になっています。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を生成させてください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Empty battery</i> (バッテリーが空です)	本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページを参照してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリー <i>29</i> ページを参照してください。
	チャージステーションのアンテナが故障しています。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。チャージステーションのインジケータランプ <i>37</i> ページを参照してください。
	本製品のチャージプレートまたはチャージステーションの接点プレートが腐食しています。	高グレードのエメリークロスを使用して、チャージプレートと接点プレートを清掃します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
<i>Wrong PIN code</i> (PIN コードの誤り)	入力された PIN コードが誤っています。入力が 5 回失敗すると、キーパッドは一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードを忘れた場合は、 Husqvarna® カスタマーサービスにご連絡ください。
<i>No drive</i> (駆動がありません)	本製品は何かかに引っかかっており、スリップしています。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面が含まれます。	急な斜面は隔離してください。境界ワイヤーの敷設場所について <i>14</i> ページを参照してください。
	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに敷設されていません。	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに取り付けられていることを確認します。 <i>ガイドワイヤーの敷設場所</i> について <i>17</i> ページを参照してください。
<i>Wheel motor overloaded, left/right</i> (ホイールモーター過負荷、左右)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動輪を点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Collision sensor problem, rear</i> (衝突センサー不具合、後)	本製品の本体がシャーシの周囲を自由に動くことができません。	本製品の本体がシャーシの周囲を自由に動けることを確認してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
Alarm! (アラーム!) Mower switched off (芝刈機のスイッチがオフです)	本製品のスイッチがオフになったため、アラームが作動しました。	セキュリティレベルを [Security (セキュリティ)]メニューで調整してください。セキュリティレベル 23 ページを参照してください。
Alarm! (アラーム!) Mower stopped (芝刈機が停止しました)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	
Alarm! (アラーム!) Mower lifted (芝刈機が持ち上がりました)	本製品が持ち上がったため、アラームが作動しました。	
Alarm! (アラーム!) Mower tilted (芝刈機が傾きました)	本製品が傾いたため、アラームが作動しました。	
Charging station blocked (チャージステーションがブロックされています)	充電ストリップとコンタクトストリップの間の接触が不良のため、本製品は充電を数度試行しました。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージプレートと接点プレートの接触が良好であることを確認してください。
	経路に障害物があるため、本製品がチャージステーションに入ることができません。	障害物を取り除いてください。
	チャージステーションが傾いているか曲がっています。	ベースプレートを水平面に置きます。
	ガイドワイヤーが正しく設置されていません。	ガイドワイヤーが取扱説明書に従って敷設されていることを確認してください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
Stuck in charging station (ステーションにスタック)	経路に障害物があるため、本製品がチャージステーションから出られなくなっています。	障害物を取り除いてください。
Upside down (上下反転しています)	本製品の傾きが大きすぎるか、ひっくり返っています。	本製品の上下を正しくしてください。
Needs manual charging (手動充電が必要です)	本製品の動作モードが MAN に設定されています。	本製品をチャージステーションに入れます。
Next start hh:mm (次回始動時間 hh:mm)	タイマー設定のために本製品が作動しなくなっています。	タイマー設定を変更してください。タイマー設定を行なうには 21 ページを参照してください。
	休止期間が進行中です。本製品には、下のスタンバイ時間表のスタンバイ期間が組み込まれています。	この動作は正常であり、特別な作業は必要ありません。
	本製品の時計または日付が合っていません。	時間を設定します。日付と時刻の設定 24 ページを参照してください。
本日の芝刈りが完了しました。	本製品には、下のスタンバイ時間表のスタンバイ期間が組み込まれています。	この動作は正常であり、特別な作業は必要ありません。必要な運転時間の見積もり 22 ページを参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Lifted</i> (持ち上がりしました)	本製品が持ち上がったため、リフトセンサーが作動しました。	本製品の本体がシャーシの周囲を自由に動けることを確認してください。シャーシを持ち上げる原因となる可能性のある障害物を取り除くか、障害物の周囲にアイランドを作ります。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
<i>Wheel drive problem, right/left</i> (右/左ホイール駆動問題)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	ホイールとホイールの周りをきれいにしてください。
<i>Electronic problem</i> (電子的問題)	電子関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
<i>Loop sensor problem, front/rear</i> (フロント/リヤループセンサーの問題)		
<i>Tilt sensor problem</i> (傾斜センサーの問題)		
<i>Temporary problem</i> (一時的問題)		
<i>Invalid sub-device combination</i> (無効な装置の組み合わせ)		
<i>Temporary battery problem</i> (バッテリーの一時的な問題)		
<i>Charging system problem</i> (充電システムの問題)	バッテリーのタイプが間違っています。	
<i>Battery problem</i> (バッテリーの問題)	バッテリー関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーを使用してください。
<i>Battery temperature outside limits</i> (バッテリー温度が範囲外)	バッテリー温度が高すぎるか低すぎるため、作業を開始できません。	特別な操作は必要ありません。温度が範囲内になると、本製品は作業を開始します。
<i>Charging current too high</i> (充電電流が高過ぎます)	電源装置が正しくないか、故障しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
<i>Connectivity problem</i> (接続の問題)	本製品の接続回路基板に問題がある可能性があります。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
<i>Connectivity settings restored</i> (接続設定が復元されました)	不具合が発生したため、接続設定が復元されました。	設定を確認し、必要に応じて変更します。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Poor signal quality</i> (信号品質低下)	本製品の接続回路基板が上下反転して取り付けられている、または本製品自体が傾いているか上下反転しています。	本製品が上下反転、または傾いていないか確認してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
メッセージ	原因	対応措置
<i>No loop signal</i> (ループ信号がありません)	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスインジケータが点灯しない場合は、電力が供給されていないということです。コンセントの接続と漏電遮断器を点検します。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しているか、または接続されていません。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクタがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。損傷がある場合、コネクタを交換してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
	境界ワイヤーが損傷しています。	チャージステーションの LED ステータスインジケータを確認します。境界ワイヤーが破損している場合、損傷した部分を新品のループワイヤーに交換し、元のカプラーを使用しして接合します。
	ECO モードが有効になっている状態で、本製品がチャージステーションの外で始動しようとしました。	本製品をチャージステーションに入れて、本製品を始動してハッチを閉じます。
	境界ワイヤーがアイランドとの間の経路で交差しています。	指示に従って境界ワイヤーが敷設されていることを確認します (アイランドの周囲で正しい方向に敷設されているかなど)。境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
	本製品とチャージステーションがペアリングされていません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を生成させてください。新規ループ信号の生成 24 ページを参照してください。
	付近にある金属の物体 (フェンス、補強鋼材) や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動するか、アイランドを作業エリアに含めて、信号強度を高めます。
	本製品が境界ワイヤーから遠すぎます。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから 15 m/50 フィート以内になるように設置を修正してください。
<i>Mower tilted</i> (芝刈機が傾きました)	本製品の傾きが最大角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動してください。
<i>Connection NOT changed</i> (接続が変更されませんでした)	ループ信号の変更に失敗しました。	新しいループ信号を作成し、数回試行してください。新規ループ信号の生成 24 ページを参照してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。

6.3 情報メッセージ

以下の表の情報メッセージは、製品のディスプレイに表示されます。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、Husqvarna® 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Low battery</i> (低バッテリー)	本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページを参照してください。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。 <i>バッテリー 29</i> ページを参照してください。
	チャージステーションのアンテナに不具合があります。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。 <i>チャージステーションのインジケータランプ 37</i> ページを参照してください。
	本製品のチャージプレートまたはチャージステーションの接点プレートの腐食による不具合です。	高グレードのエメリークロスを使用して、チャージプレートと接点プレートを清掃します。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
<i>Settings restored</i> (設定が復元されました)	<i>Reset all user settings</i> (全ユーザー設定リセット) が実行されました。	本製品の通常の動作です。
<i>Guide not found</i> (ガイドが見つかりません)	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーをチャージステーションに接続します。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページを参照してください。
	ガイドワイヤーが損傷しています。	損傷した箇所を新しいガイドワイヤーに交換します。
	ガイドワイヤーが境界ループに接続されていません。	ガイドワイヤーを境界ループに適切に接続します。 <i>境界ワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページを参照してください。
<i>Guide calibration failed</i> (ガイド補正失敗)	エラーによりガイドワイヤーが補正されませんでした。	ガイドワイヤーを適切に取り付けます。 <i>ガイドワイヤーを取り付ける方法 19</i> ページを参照してください。
<i>Guide calibration done</i> (ガイド補正完了)	ガイドワイヤーが補正されました。	本製品の通常の動作です。
接続の変更	新しいループ信号が変更されました。	本製品の通常の動作です。

6.4 チャージステーションのインジケータランプ

チャージステーションのインジケータランプは、正しく取り付けられていることを示す緑色で点灯または点滅していません。そうでない場合は、以下のトラブルシューティングガイドの手順に従ってください。

www.husqvarna.com でも情報を参照できます。詳しくは、Husqvarna® カスタマーセンターまでお問い合わせください。

ランプ	原因	対応措置
緑色の点灯	良好な信号。	特別な操作は必要ありません。
緑色の点滅	信号は良好であり、ECO モードが有効になっています。	特別な操作は必要ありません。ECO モードの詳細については、ECO モード 24 ページを参照してください。
青色の点滅	境界ループがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクタがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。境界ワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
	境界ループが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカブラーを使用して、境界ワイヤーの損傷部分を新品のループワイヤーと接合して交換してください。ループワイヤーの損傷を発見 39 ページを参照してください。
黄色の点滅	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーのコネクタがチャージステーションにしっかりと取り付けられているか点検してください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページを参照してください。
	ガイドワイヤーが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカブラーを使用して、ガイドワイヤーの損傷している部分を新品のループワイヤーと接合して交換してください。
赤色の点滅	チャージステーションのアンテナが遮断されています。	最寄りの Husqvarna® 販売店に連絡してください。
赤色の点灯	回路基板の不具合、またはチャージステーションに不適切な電源が接続されています。不具合は必ずサービス技術者が修正してください。	最寄りの Husqvarna® 販売店に連絡してください。

6.5 症状

本製品が期待通りに作動しない場合は、下の症状ガイドに従ってください。

www.husqvarna.com には FAQ (よく尋ねられる質問集) があり、多くの一般的な質問に対する詳細な回答が記載されています。不具合の原因が分からない場合は、お近くの Husqvarna® 販売店にご連絡ください。

症状	原因	対応措置
本製品のドッキングに問題があります。	チャージステーションから敷設されたガイドワイヤーの直線距離が不足しています。	チャージステーションが指示に従って設置されていることを確認してください。ガイドワイヤーの敷設場所について 17 ページ
	ガイドワイヤーがチャージステーションの下にあるスロットに挿入されていません。	動作するにはガイドワイヤーが完全に直線でチャージステーションの下の適切な位置にあることが非常に重要です。このため、ガイドワイヤーは必ずチャージステーションのスロットに配置してください。ガイドワイヤーを取り付ける方法 19 ページ を参照してください。
	チャージステーションが斜面上にあります。	チャージステーションを全体が水平な表面に置いてください。チャージステーションの設置場所について 13 ページ を参照してください。
本製品が指定していない時間に作動する	本製品の時計を設定する必要があります。	時計を設定します。日付と時刻の設定 24 ページ を参照してください。
	刈込の開始時刻と終了時刻が不正確です。	刈込の開始時刻と終了時刻の設定をリセットしてください。タイマー設定をリセットするには 22 ページ を参照してください。
本製品が振動します。	ブレードが損傷すると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。ブレードの交換 29 ページ を参照してください。
	同じ位置にあるブレードが多すぎると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	各ネジに対してブレードが 1 枚 だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なるバージョン (厚さ) の Husqvarna® ブレードが使用されています。	ブレードのバージョンが異なっていないかを調べてください。
製品が走行していますが、ブレードディスクが回転していません。	本製品はチャージステーションを探しているか、出発地点まで運転しています。	特別な操作は必要ありません。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。
1 回の充電で持続する本製品の芝刈り時間が通常よりも短くなっています。	草などの異物がブレードディスクを妨害しています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。シャシおよびブレードディスク 28 ページ を参照してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリーの取り外し方法 42 ページ を参照してください。
芝刈り時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。バッテリーの取り外し方法 42 ページ を参照してください。

症状	原因	対応措置
本製品がチャージステーションで数時間停止しています。	本製品には、下のスタンバイ時間表のスタンバイ期間を組み込んでいます。必要な運転時間の見積もり 22 ページを参照してください。	特別な操作は必要ありません。
	[STOP (ストップ)] ボタンが作動しました。	確認するには、ハッチを開き、PIN コードを入力して、[OK] ボタンを押します。[START (スタート)] ボタンを押して、ハッチを閉じます。
芝刈りの結果が不均一。	1日あたりの本製品の作動時間が少なすぎます。	芝刈り時間を長くします。必要な運転時間の見積もり 22 ページを参照してください。
	作業エリアの形状によっては、本製品がすべてのリモートエリアへの経路を見つけれられるようにリモートスタート機能を使用する必要があります。	本製品をリモートエリアに誘導してください。リモートスタート 223 ページを参照してください。
	[Proportion (比率)] の設定が作業エリアの形状と合っていません。	正しい [Proportion (比率)] の値が選択されているか確認します。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作業時間を延長してください。タイマー設定を行なうには 21 ページを参照してください。
	刃先が鈍っています。	すべてのブレードを交換します。ブレードの交換 29 ページを参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を大きくしてから徐々に下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が蓄積しています。	ブレードディスクがスムーズに、容易に回転することを確認してください。そうでない場合は、ブレードディスクのネジを緩めて、草や異物を取り除いてください。シャーシおよびブレードディスク 28 ページを参照してください。

6.6 ループワイヤーの損傷を発見

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。敷設時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

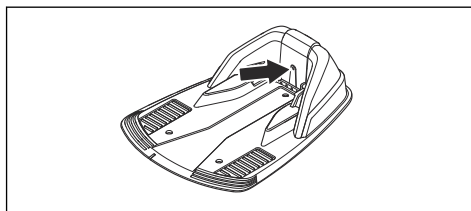
設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。これを防止するため、設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから 2 週間ごとに一度に 1 段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、カブラーをプライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カブラーより品質が劣るカブラーを使用した場合に発生することがあります。他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

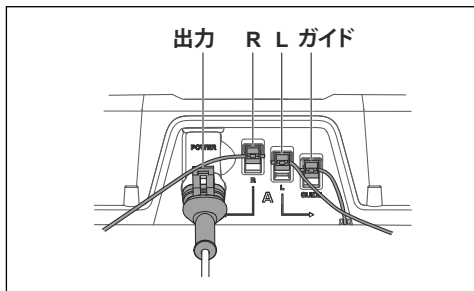
ワイヤーの損傷を見つけるには、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るまで、損傷がありそうなループの間隔を段階的に半分にしていきます。

ECO モードが有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず ECO モードのスイッチをオフにしてください。ECO モード 24 ページを参照してください。

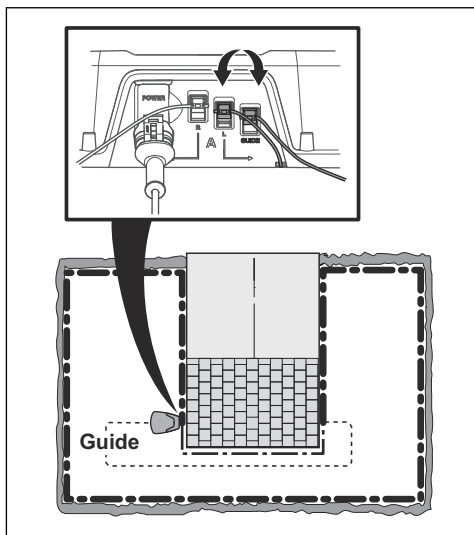
1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。チャージステーションのインジケータランプ 37 ページを参照してください。



2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているか確認してください。



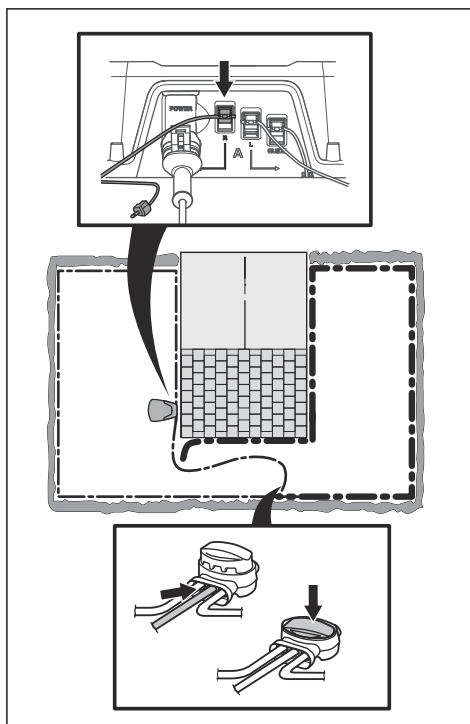
3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。
L および GUIDE の接続を切り替えて開始します。
インジケータランプが黄色に点滅する場合は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続されている地点と L の間のどこか (図の黒い線) で境界ワイヤーが破損しています。



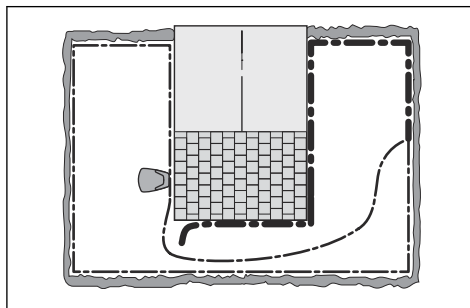
この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクター、およびカプラーが必要です。

- a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法は、ガイドワイヤーと境界ワイヤー (太い黒い線) の接続点までの間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。
b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合 (太い黒い線)、次の手順を実行します。L と

GUIDE を元の位置に戻します。R の接続を外します。新品のループワイヤーを R に接続します。この新品のループワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

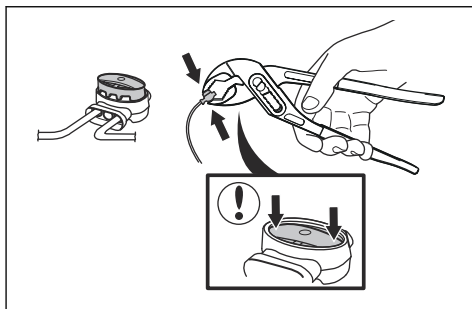


インジケータランプが黄色に点滅する場合、接続を外した箇所から新しいワイヤーを接続した地点の間 (下の図の黒い太線) のどこかでワイヤーが破損しています。この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて (破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで)、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。



緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合：L と GUIDE を元の位置に戻します。次に R と GUIDE を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、L の接続を外して、新しい境界ワイヤーを L に接続します。この新品のワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。上記の 3a) および 3b) と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカブラーをお使いください。

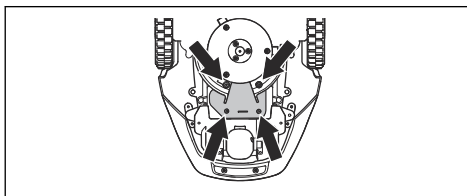


7 搬送、保管、廃棄

7.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。



7.2 保管

- 本製品を完全に充電します。バッテリーの充電方法 27 ページを参照してください。
- 本製品のスイッチをオフにします。本製品のスイッチをオフにする方法 27 ページを参照してください。
- 製品を清掃します。製品の清掃 28 ページを参照してください。
- 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- 保管中は、すべてのホイールを水平な場所に置き、可能な場合は純正のウォールハンガーを使用してください。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源とすべてのコネクタを取り外します。各コネクタワイヤーの端をグリースの入ったコンテナに入れます。

6. バッテリー固定ブラケットのネジを外し、ブラケットを取り外します。
7. ストラップを引いてバッテリーを引き出します。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクタを外さないでください。

7.3 廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーの取り外し方法については、バッテリーの取り外し方法 42 ページを参照してください。

7.3.1 バッテリーの取り外し方法

以下の手順に従って、本製品からバッテリーを取り外します。

1. **メインスイッチ**を [0] の位置にセットします。
2. 刈高を最低に設定します。
3. 本製品を上下さかさまにします。
4. バッテリーカバーの周囲を清掃します。
5. バッテリーカバーを固定している 4 本のネジ(トルクス 20)を外し、バッテリーカバーを取り外します。

8 主要諸元

8.1 主要諸元

寸法	Automower® 105
長さ、cm/インチ	55/21.7
幅、cm/インチ	39/15.4
高さ、cm/インチ	25/9.8
質量、kg/ポンド	6.9/15

電気系統	Automower® 105
リチウムイオンバッテリー 18.5 V/2.1 Ah、品番	586 57 62-02
リチウムイオンバッテリー 18 V/2.0 Ah、品番	586 57 62-03, 586 57 62-05
リチウムイオンバッテリー 18.25 V/2.0 Ah、品番	586 57 62-04
電源 (28V DC)、V AC	100~240
低電圧ケーブル長、m/フィート	5/16.4
最大使用時の平均エネルギー消費量	5 kWh/月 (作業エリア : 600 m ² /0.15 エーカー)
充電電流、A DC	1.3
電源装置のタイプ	ADP-40BR XX, ADP 28EW XX, FW7313/28/D/XX/Y/1.3/PI, FW7313/28/D/XX/Y/1.3
平均芝刈り時間、分	65
平均充電時間、分	50

境界ワイヤーアンテナ	Automower® 105
動作周波数帯、Hz	100-80000
最大磁界 ² 、dBuA/m	82
最大無線周波電力 ³ 、mW @60m	<25

音響データ ⁴	Automower® 105
計測音響騒音レベル、dB (A)	58
騒音排出の不確定性、KWA (dB (A))	3
保証音響騒音レベル、dB (A)	61
使用者の耳における音圧騒音レベル ⁵ 、dB (A)	47

² EN 303 447 に基づいて測定。

³ 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

⁴ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。

⁵ 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2~4 dB (A)

芝刈り	Automower® 105
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (3 枚)
カッティングモーター回転数、r/min	2900
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	20
刈高、cm/インチ	2~5/0.8~2
刈幅、cm/インチ	17/6.7
最狭の通過可能経路、cm/インチ	60/24
作業エリアの最大角度、%	25
境界ワイヤーの最大角度、%	15
最大長の境界ワイヤー、m/フィート	400/1300
最大長のガイドループ ⁶ m/フィート	200/650
境界ワイヤーの最大距離、m/フィート	15/50
作業能力、m ² /エーカー +/- 20%	600/0.15

IP 分類	Automower® 105
ロボット芝刈機	IPX4
チャージステーション	IPX1
電源	IP44

リモコン、無線送信機、ヒアリングループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムとロボット芝刈機間の互換性は完全には保証されません。

⁶ ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

9 保証

9.1 保証条件

Husqvarna®の保証対象は、購入日より2年間の本製品の機能です。この保証は、材質または製造上の不具合に関係する重大な不具合を対象とします。保証期間内では、以下の条件を満たす場合、弊社は製品を交換するか、無料で修理します。

- 本製品とチャージステーションがこの取扱説明書の指示に従った方法でのみ使用されている。この製造元の保証は、代理店／販売店に対する保証の権利には影響しません。
- エンドユーザーまたは認証されていない第三者は製品を修理してはなりません。

保証に含まれない故障の例：

- 高圧洗浄機を使用したり、大雨で水たまりができて水浸しになったりする場合など、浸水による損傷。
- 雷による損傷。
- 不適切なバッテリー保管またはバッテリーの取り扱いによって起こった損傷。
- Husqvarna®の純正バッテリー以外のバッテリーを使用したことによる損傷。
- ブレードや設置材料などの Husqvarna®純正の予備部品およびアクセサリーを使用しなかったために発生した損傷。
- ループワイヤーの損傷。
- 製品または電源に対する不認可の変更または改造による損傷。

ブレードとホイールは消耗品と見なされ、保証対象ではありません。

Husqvarna®製品にエラーが発生した場合、最寄りの Husqvarna®販売店に連絡して指示を受けてください。最寄りの Husqvarna®販売店に連絡する際は、領収書と本製品の製造番号を用意してください。



Husqvarna[®]

AUTOMOWER[®] はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権©2021 HUSQVARNA。無断複写・転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1141371-79



2021-05-12